

今月の寺ともさん 宮脇町 ^{なご}和みの部屋 ^{へや} 織野和子さん



今月の寺ともさんは、織野和子さんです。織野さんは、数年前ある新聞記事に目が留まり興味を引かれました。自宅に住みながら一室を開放する「住み開き」という記事でした。昨年3月に退職し「住み開き」をぜひやってみたいと考えていた矢先に、高松市高齢者居場所作り事業があることを知ったのです。そこで高松市の事業として自宅の一階を開放すること

にしました。それが「^{なご}和みの部屋^{へや}」なのです。昨年10月にオープンし、毎月第1・3月曜日の午後1時～3時半まで開かれています。織野さんの多彩な趣味の仲間を通じて呼びかけたところ毎回10人以上の方たちが参加しておられます。その活動内容は、参加者の得意分野を大いに生かして、折り紙や歌、そして小物作り等あり、参加者中心のスタイルです。みんなが楽しみに来てくれて二つの夢がかなったと織野さんは仰います。一つは先ほどの自宅開放「住み開き」の実現で、もう一つは今まで仕事中心でなかなか目を向けられなかった、住んでいる地域に対して、自分の子ども達もお世話になって成長させてもらったことへの恩返しができることだそうです。参加者は女性がほとんどなので、今後は男性参加者も積極的に募りたいと意気込みを語って下さいました。和みの部屋に参加してみたいという方は、徳成寺までご連絡下さい。きっと楽しいひと時が過ごせますよ。

***** ご自慢のペットちゃん *****

名前：ビリーくん
 性別：♂
 お年：7歳半
 種類：ミニチュアダックス
 好物：炒めた豚肉
 苦手：特になし
 住所：織野さん宅(高松市)
 性格：人間好き



エピソード：織野さん宅で、初孫が小学校の入学祝いにプレゼントされたのがビリーくんです。親戚の家の飼犬の名前が、ボビーでそこからしり取り遊びでビリーになったとか、当時ビリーズブートキャンプという体操が流行っていたのも影響したそうです。人が大好きなので、入っているゲージの中でピョンピョンジャンプするので、椎間板ヘルニアで寝込んだこともあります。でも今はとっても元気なビリーです。

ご自慢のペットちゃん
 募集中だにゃん！

総代の山根です。室新町のふれあいサロンに、コミュニティーセンターから講師の方が来られて十干・十二支について、充実した内容のお話を楽しく聞くことができました。十干の「干」は木の幹が語源で、^{こうおつ}甲乙^{へいてい}丙丁^ぼ戊己^き庚辛^{こうしん}壬癸^{じんき}の漢字であらわします。この十干を木・火・土・金・水という五行にあてはめ、それに陽をあらわす兄と陰をあらわす弟を順に組み合わせたものです。十二支の支は幹の枝を表し、方角に動物の名をつけたとされます。^ね子丑^{うし}寅卯^{らう}辰巳^{たつ}午未^{みう}申酉^{まひ}戌亥^{つじ}です。この十干十二支が一回りするのに60年かかるので、60歳を還暦と言います。ご門徒の方々にもそんな話を聞く機会を作ればよいなと思っています。「一年の計は、元旦にあり」と言われるように、今年も目標を立て元気に一年を過ごしたいと思います。

